

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 山喜株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3598 URL <https://www.e-yamaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野瀬 和良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長 (氏名) 森 弘吉 TEL 06-6764-2211
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,877	△7.8	145	△18.6	166	6.3	140	12.2
2026年3月期第1四半期	3,121	△2.7	178	20.6	156	△29.4	124	△55.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 249百万円 (64.6%) 2026年3月期第1四半期 151百万円 (△48.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.89	9.84
2026年3月期第1四半期	8.82	8.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,101	3,383	33.4
2026年3月期	9,972	3,246	32.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,370百万円 2026年3月期 3,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2027年3月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	0.9	130	—	100	—	90	—	6.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	14,950,074株	2026年3月期	14,950,074株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	773,187株	2026年3月期	773,187株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	14,176,887株	2026年3月期1Q	14,176,888株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における我が国経済は、雇用・所得環境の緩やかな改善が見られたものの、継続的な物価上昇に加え、国際紛争の長期化等による海外情勢の不安定化により、先行き不透明な状況が続きました。

当アパレル業界においては、消費者の節約志向が継続する一方で、為替相場の変動による製品コストの上昇、人件費・物流費の増加など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、2026年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画において、「製販一体型ビジネスモデルの構築」および「抜本的な構造改革による経営体質の転換」を二つの基本方針として掲げ、『オンリー1シャツメーカー』への挑戦を進めております。当第1四半期におきましても、両基本方針に基づく各施策の実行に取り組みました。

① 「製販一体型ビジネスモデルの構築」

製販一体型ビジネスモデルの構築に向けては、オリジナルブランド事業の拡大、ネット販売・ODM/OEMの販路の拡大、直営・直販事業の拡大の3つを重点施策としております。

オリジナルブランド事業の拡大につきましては、メンズ「CHOYA」ブランドにおけるビジネス関連アイテムの提案強化、レディース「CHOYA H・M・G」ブランドにおける販促強化および新規取引に向けた商談開始、「SWAN」ブランドにおける透け防止や汗ジミ抑制機能を備えた高機能素材「ミステリードライ」の採用など、高付加価値商品の展開拡充を図りました。また、新たに「RIZAP」および「chocoZAP」ブランドの商品展開を開始するとともに、「RIZAP」ブランド向けに血行促進効果が期待される「イフミック」加工を施した機能性シャツを導入するなど、ブランド価値の向上を図りました。

ネット販売・ODM/OEMの販路の拡大につきましては、ECサイトにおいて、「SHIRT HOUSE」ブランドとの連携を強化し、オフィスカジュアルアイテムの掲載を拡充いたしました。また、量販店向け直接貿易取引の順調な拡大や、主要な紳士服専門店向けODM取引における2027年春物受注の増加など、収益性の向上に寄与する取引が着実に進展いたしました。

直営・直販事業の拡大につきましては、量販店内のコンセショッップである「SHIRT HOUSE」の店舗数は126店舗となりました。夏物販売不振により売上高は想定を下回ったものの、人件費削減による効果創出および新規出店に向けた準備を進めました。百貨店内の当社直営店である「STYLE WORKS」および山喜幹事ショッップの店舗数は10店舗となりました。売場全体の売上高が前年を下回る中で、山喜幹事ショッップは相対的に高い実績を確保しており、ショッップ化による効果が着実に表れております。

② 「抜本的な構造改革による経営体質の転換」

抜本的な構造改革による経営体質の転換に向けては、企画・営業・生産の各体質の見直し、在庫・生産の効率化の2つを重点施策としております。

企画・営業・生産の各体質の見直しにつきましては、レディース企画部門への経験者採用等により、積極的な人員確保を進めました。加えて、市場ニーズに即した素材に強みを有する新規仕入先との取り組みを強化し、オフィスカジュアルや機能性商品などの高付加価値商品の開発を推進いたしました。また、生産工場では、各工場の特性に応じたアイテム集約や工場間の情報共有体制の構築を進めました。

在庫・生産の効率化につきましては、過年度在庫の販売促進を継続するとともに、展開サイズの適正化および定番・継続商品の拡大に取り組みました。また、CAM裁断機や玉縁縫い自動機等の導入による生産効率の向上を図りました。

今後も両施策の一体的な推進により、持続的な成長基盤の確立に努めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高28億77百万円（前年同期は31億21百万円）、営業利益1億45百万円（前年同期は1億78百万円）、経常利益1億66百万円（前年同期は1億56百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億40百万円（前年同期は1億24百万円）となりました。

事業セグメントごとの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① 国内販売

国内販売セグメントは上述の要因により、売上高25億23百万円（前年同期は27億75百万円）、セグメント利益1億39百万円（前年同期は1億98百万円）となりました。

② 製造

製造セグメントにおいては、国内生産拠点の集約化による関連費用の負担減少により、売上高は5億50百

万円（前年同期は5億85百万円）、セグメント利益22百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

③ 海外販売

海外販売セグメントにおいては、上海山喜における中国国内向け販売が好調に推移したことにより、売上高は1億10百万円（前年同期は68百万円）となりました。一方、タイ山喜における営業利益の減少により、セグメント損失16百万円（前年同期は16百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は101億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億29百万円増加いたしました。この主な要因は、流動資産のその他に含まれる未収入金の増加等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は67億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金の減少等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は33億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億37百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、今後の為替相場の状況や季節変動の状況により不透明な為、現時点におきましては、2026年5月15日の「2026年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,663,712	1,658,406
受取手形、売掛金及び契約資産	1,691,966	1,623,180
製品	2,708,514	2,708,567
仕掛品	74,854	78,767
原材料	205,137	206,528
その他	478,409	661,238
貸倒引当金	△142	△177
流動資産合計	6,822,453	6,936,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	569,172	593,595
機械装置及び運搬具（純額）	39,252	37,668
土地	1,702,207	1,694,621
その他（純額）	62,808	49,678
有形固定資産合計	2,373,440	2,375,564
無形固定資産	476,812	471,438
投資その他の資産		
投資有価証券	143,248	158,789
繰延税金資産	20,072	18,565
退職給付に係る資産	104,105	109,800
その他	32,228	30,898
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	299,604	318,004
固定資産合計	3,149,858	3,165,006
資産合計	9,972,311	10,101,518
負債の部		
流動負債		
買掛金	432,430	179,247
電子記録債務	962,329	1,315,222
短期借入金	3,282,615	3,273,431
1年内返済予定の長期借入金	276,820	245,460
未払法人税等	19,053	30,329
契約負債	260,990	272,780
賞与引当金	83,909	53,091
その他	442,949	452,264
流動負債合計	5,761,098	5,821,827
固定負債		
長期借入金	792,407	731,042
再評価に係る繰延税金負債	73,277	73,277
その他	99,198	91,834
固定負債合計	964,882	896,153
負債合計	6,725,980	6,717,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,355,227	3,355,227
資本剰余金	1,467,501	1,467,501
利益剰余金	△1,451,837	△1,311,667
自己株式	△156,328	△156,328
株主資本合計	3,214,563	3,354,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,188	81,839
繰延ヘッジ損益	9,453	11,948
土地再評価差額金	△10,328	△10,328
為替換算調整勘定	△83,189	△98,434
退職給付に係る調整累計額	31,806	30,943
その他の包括利益累計額合計	18,930	15,968
新株予約権	12,836	12,836
純資産合計	3,246,330	3,383,537
負債純資産合計	9,972,311	10,101,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,121,985	2,877,078
売上原価	2,157,241	1,988,628
売上総利益	964,743	888,449
販売費及び一般管理費	785,815	742,844
営業利益	178,928	145,605
営業外収益		
受取利息	4,269	3,811
仕入割引	5,657	6,053
為替差益	—	19,995
その他	19,057	7,883
営業外収益合計	28,985	37,743
営業外費用		
支払利息	21,521	13,855
支払手数料	500	500
支払割引料	1,555	2,805
為替差損	24,923	—
その他	3,130	79
営業外費用合計	51,630	17,240
経常利益	156,282	166,107
特別利益		
固定資産売却益	—	158
特別利益合計	—	158
特別損失		
固定資産除売却損	1,760	—
特別損失合計	1,760	—
税金等調整前四半期純利益	154,522	166,266
法人税、住民税及び事業税	32,520	30,224
法人税等調整額	△2,977	△4,129
法人税等合計	29,543	26,095
四半期純利益	124,978	140,171
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,978	140,171

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	124,978	140,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,831	10,650
繰延ヘッジ損益	5,221	2,495
為替換算調整勘定	14,791	96,769
退職給付に係る調整額	△397	△863
その他の包括利益合計	26,446	109,051
四半期包括利益	151,425	249,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,425	249,223

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内販売	製造	海外販売			
売上高						
一時点で移転される財	2,765,062	312,105	40,290	3,117,457	—	3,117,457
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	2,765,062	312,105	40,290	3,117,457	—	3,117,457
その他の収益	4,523	4	—	4,527	—	4,527
外部顧客への売上高	2,769,585	312,109	40,290	3,121,985	—	3,121,985
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,760	273,357	28,490	307,608	△307,608	—
計	2,775,345	585,467	68,781	3,429,593	△307,608	3,121,985
セグメント利益又は損 失(△)	198,211	△6,849	△16,784	174,577	4,351	178,928

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額4,351千円は、セグメント間取引消去であります。

(注) 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内販売	製造	海外販売			
売上高						
一時点で移転される財	2,515,261	286,427	70,735	2,872,424	—	2,872,424
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	2,515,261	286,427	70,735	2,872,424	—	2,872,424
その他の収益	4,649	4	—	4,654	—	4,654
外部顧客への売上高	2,519,911	286,431	70,735	2,877,078	—	2,877,078
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,840	264,534	39,711	308,086	△308,086	—
計	2,523,751	550,966	110,447	3,185,164	△308,086	2,877,078
セグメント利益又は損 失 (△)	139,193	22,939	△16,817	145,315	289	145,605

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額289千円は、セグメント間取引消去であります。

(注) 2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	20,350千円	27,842千円